

アフリカ仏語圏地域 妊産婦の健康改善(行政官対象) Improvement of Maternal Health for French-Speaking African Countries (for government officials)		継続
対象国の条件 : 仏語圏アフリカ諸国		
研修コース番号 : J1804206	案件番号 : 1884450	
主分野課題 : 保健医療/母子保健・リプロダクティブヘルス		
副分野課題 : 保健医療/保健医療システム		
使用言語 : 仏語		
案件概要		
国際社会の共通目標としてミレニアム開発目標に続きSDGsが設定され、世界各国は目標達成に向かって取り組んでいる。しかしながら、アフリカ地域では保健に関連した目標、特に妊産婦死亡率の改善に関する指標の進捗が遅れがみられる。本研修では、妊産婦死亡率削減等の有効性が確認された日本の保健施策や特に保健システムの観点からの母子継続ケアの概要を紹介し、参加者が活動する行政区域における妊産婦・新生児に関するケアが向上することを目標とする。		
目標/成果	対象組織/人材	
【案件目標】 参加者が当該国の「妊産婦の健康改善」に貢献するため、「継続ケア」の概念をもとに、国際的な視点や日本・他国の参加者の経験を共有し、自らもしくは所属する組織が実施できる活動が明確化される。	【対象組織】 中央あるいは州レベルの保健行政機関	
【成果】 1. 各国の妊産婦死亡に関する課題が分析される。 2. 日本の国際保健の政策も踏まえ、各国の望ましい「継続ケア」が整理される。 3. 自国の母性・新生児保健サービスの経験を互いに交換し、他の参加国の取組の特徴や有効性を協議し、自国の課題に活用できる。 4. 自国の妊産婦・新生児の健康改善に関する、改善提案も含めた気づきの点がまとめられる。	【対象人材】 ・中央あるいは州レベルで妊産婦保健プログラムの計画もしくは実施に関わる行政官 ・中央あるいは州レベルで妊産婦保健プログラムの計画もしくは実施に関わる行政官として5年以上の職務経験を持つこと ・医師、看護師、助産師に相当する医療専門職であること	
内 容	本邦研修期間	2018/10/14～2018/11/1
1 各国の母性・新生児保健に係る課題の分析 2 各国で分析した母性・新生児保健に係る課題を発表し、参加者間で共有する 3 日本の母子保健に関する歴史、政策、制度の紹介 4 日本の国際保健政策の紹介 5 エビデンスが証明された妊産婦の健康改善のための介入およびグッドプラクティスの紹介 6 日本の「継続ケア」の現場視察 7 医療施設の緊急産科ケアに係るサービス改善 8 医療施設、行政機関、医療機関やコミュニティにおける予防啓発 9 医療施設へのアクセス改善リファラルシステムの構築、妊産婦の数および状態を把握するための仕組み 10 妊産婦・新生児の健康改善に資する、研修員の配属先が実施可能な改善提案を含めた気づきの点のまとめ	担当課題部	人間開発部
	所管国内機関	JICA東京（人間開発）
	関係省庁	
	実施年度	2017～2019
主要協力機関	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	
特記事項及びホームページ	国立国際医療研究センター（NCGM） http://www.ncgm.go.jp	